



# 網走市 網走ビール(株)

## 『クラフトビールをアジアの各都市へ』

【主な品目】

クラフトビール

【主な輸出先国・地域】

中国、台湾、シンガポール等

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

◆北海道網走の産品と特徴を活かした商品を醸造。  
青色をはじめとした他にはない、鮮やかな色合いのクラフトビールがアジアなどをはじめとして、各国で評価を受けている。

【輸出実績】(平成24年より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(本)	出荷時期
令和3年	1,300	78,000	通年
令和2年	1,500	90,000	
令和元年	1,200	72,000	

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- ▶ 夏場取引が集中するため、輸出したくても製造が追いつかない状況があったことから、平成29年秋に生産能力を上げるため、自動瓶詰めラインを導入。その結果、生産能力が上がり、夏場に集中する取引に応えることが出来た。
- ▶ 平成29年は取引先と価格面で折り合わず輸出量が減少したため、商談会へ数多く出展し、輸出業者との関わりを増やした。中国で「流水ドラフト」がSNSで発信されたのを受け、商談会で商談した輸出業者と取引が進み、中国の各都市へ輸出することができた。

【今後の課題・展望】

- ▶ 商品を充実させるためのラベルや味の改良。
- ▶ 輸出額を同社の売り上げ全体の約2割まで引き上げることを目指す。
- ▶ 平成30年4月に網走産大麦を使用した新商品「アバシリ・ゴールデン・エール」を発売。クラフトビールの本場の製法を採用し輸出量の増加を目指す。

令和元年度輸出に取り組む優良事業者表彰 北海道農政事務所長賞

【活用した支援・施策】 -

【ウェブサイト】 <http://www.takahasi.co.jp/beer/>

【連絡先】 担当者名:川崎常務取締役 TEL:0152-45-5100



人気の「流水ドラフト」はラベルを一新



オホーツクの四季をイメージした色鮮やかなビール



ドイツの伝統的な醸造法「デコクション法」により醸造